

シンポジウム 『飛べない鳥たちの世界』

-その生態と環境を考える-

カグーをはじめ、世界には進化の過程で飛ぶことを止めてしまった鳥たちがいます。彼らは飛ぶことができないため、環境の変化を受けやすく危機的状況にある種も少なくありません。

そんな彼らの現状について考えます。

【プログラム】

- ◇カグー保護を目的とした横浜市とニューカレドニアの交流事業
- ◇ニューカレドニアの飛べない鳥、カグー
- ◇ニューカレドニアにおける希少鳥類の生息状況とその未来
- ◇世界の飛べない鳥たち
- ◇オーストラリアの世界遺産に住む巨鳥、ヒクイドリの保護と現状
- ◇ヤンバルクイナの現状と保護活動



横浜市繁殖センターでは、希少動物の繁殖や研究を通じて、生物多様性の保全活動を実施しています。これらの活動を市民の皆さまに広く知っていただくこと、また、希少鳥類の保全活動に理解を深めていただくことを目的に、9月20日（土）に一般市民向けのシンポジウムを開催します。

【概要】

開催日時	平成26年9月20日（土）13:00～16:30（開場 12:00）
開催場所	横浜市開港記念会館 講堂（横浜市中区本町1丁目6番地）
参加料	無料
参加方法	申込は必要ありません。直接会場にお越しください
問合せ先	横浜市繁殖センター（〒241-0804 横浜市旭区川井宿町 155-1） TEL 045-955-1911

主催：横浜市繁殖センター 共催：（公財）横浜市緑の協会・立教大学理学部・LiferBird

後援：（公社）日本動物園水族館協会・ニューカレドニア観光局・WWFジャパン・NPO法人バードリサーチ

当日取材をご希望の場合は、事前に繁殖センター（TEL045-955-1911）までお問い合わせください。

【参考】

横浜市繁殖センターについて

希少動物の保全及び繁殖を通して生物多様性の保全に貢献しています。これまで、カンムリシロムクの野生復帰やカグー等の飼育下繁殖に成功してきました。

また、国内の動物園としては初めての研究を目的とした実験設備を備え、希少野生動物の亜種判定や個体間あるいは種間の近縁関係、雌雄判別などに関する遺伝子解析や繁殖生理解明のための性ホルモン動態の解析など、「種の保存」に関わる研究を行っています。さらに、横浜市立動物園の動物からの精子、卵子、細胞の凍結保存、人工授精等を試み、遺伝資源の保存にも取り組んでいます。

(ニューカレドニア希少動物研究交流事業)

平成元年、横浜市制 100 周年を記念して、ニューカレドニア南部領土政府よりニューカレドニア固有の希少鳥類であり、国鳥でもあるカグーが本市に寄贈されました。これを契機に、「横浜市とニューカレドニア南部領土政府の野生動物に関する交流合意書」を締結し、学術交流・動物交換を開始しました。これらの交流を通じて、横浜市繁殖センターではカグーの飼育下での継代繁殖に成功し、危険分散と生息域外保全という重要な役割を担っています。

また、平成 25 年度からは、ニューカレドニアで現地調査を行っている立教大学上田研究室とカグーの重金属の代謝について、共同研究を開始しました。この共同研究開始を受けて、本シンポジウムも、立教大学理学部との共同による開催となっています。

(飼育動物)

スバルバルライチョウ、カグー、マレーバク他（10 種 164 点 H26.7 月末日現在）



お問い合わせ先

環境創造局 動物園課長 松寄 尚紀

Tel 045-671-2607